

デジタルプラットフォームを活用した官民共創の推進「エールラボえひめ」

愛媛県 企画振興部 デジタル戦略局 デジタルシフト推進課 専門員 おおにし ひろあき
大西 広晃

1. はじめに

愛媛県では、平成30年度に全国に先駆けてデジタルマーケティングの専担部署となる「プロ

■デジタル総合戦略の策定

基本理念	「デジタルでつなぎ切り拓く、活力と安心感あふれる愛顔のえひめ」
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・県民本位 ・市町との協働 ・官民共創
基本姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・挑戦 ・連携 ・創造
戦略期間	令和3年度～令和5年度(3年間)

- 特徴

 - 1 県政全般にわたる総合的なDX戦略
 - 2 「県と市町との協働」が基本
 - 3 「官民共創」でのDX推進に向けた具体的な仕掛け

図-1 愛媛県デジタル総合戦略概要

モーション戦略室」を設置し、コロナ禍以前からデジタル施策に積極的に取り組んできました。

また、同年には「デジタルマーケティング基本戦略」を策定、令和2年度には、県政のデジタル変革(DX)を一層戦略的に推進するため、本県のDXの指針となる「デジタル総合戦略」を策定しました(図-1, 2)。

この戦略の特徴としては、①県政全般にわたる総合的なDXを推進するための戦略であること、②本県ならではの「市町との協働」を戦略の基本方針の一つに掲げていること、③「官民共創」でDXを推進する具体的な仕掛けを導入していることであり、この具体的な仕掛けが「エールラボえひめ」です(図-3)。

「行政・暮らし・産業」のDX推進に向け、18の戦略と81の戦術を設定

分野	戦略(将来ビジョン)	戦術(81項目)
行政のDX	<ul style="list-style-type: none"> ・聖域なきDXの推進 ・手のひら県庁への挑戦 ・働き方のニューノーマル ・えひめ情報・データハイウェイの構築 ・事業のデジタルシフト ・「チーム愛媛」のDX 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政手続き・窓口業務のオンライン化 ・職員のデジタルリテラシーの向上 ・官民共創拠点の設置 ・マイナンバーカードの普及加速化 ・県・市町一体となったデータ利活用の促進 ・高度デジタル人材のシェアリング など27項目
暮らしのDX	<ul style="list-style-type: none"> ・「安全・安心」スマート防災の実現 ・DXによる防犯・交通安全の推進 ・デジタル教育先進県えひめへの挑戦 ・デジタルによる自分らしい生活の実現 ・ライフステージに応じたDXの推進 ・デジタルでつなぐまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災へのデジタル技術の積極的活用 ・子どもの学びのデジタルシフト(CBT) ・eスポーツの推進 ・データ活用による健康増進 ・医療における情報伝達や共有の促進 ・オンラインによる交流・関係人口の拡充 など29項目
産業のDX	<ul style="list-style-type: none"> ・産業のDXを担う人材・企業づくり ・農林水産業の愛媛発モデルの展開 ・ものづくりにおける技術革新 ・DXによる営業活動の強化 ・デジタルプロモーションの横展開 ・ポストDXへの共創 	<ul style="list-style-type: none"> ・リカレント教育等によるデジタル人材の育成 ・ワーケーションとサテライトオフィス誘致 ・5G等を活用した産業振興 ・スマート農林水産業、ものづくりの実現 ・デジタルツールを活用した営業活動の推進 ・データを活用した観光コンテンツの創出 など25項目

図-2 愛媛県デジタル総合戦略における戦略・戦術



図-3 エールラボえひめ

2. エールラボえひめの内容と 取り組み状況

「エールラボえひめ」は、産学官の多様な主体が、様々な地域課題を共有し、県外の先進技術やノウハウの活用も図りながら、「課題解決」や「新たなサービス等の創出」につながるプロジェクトを、官民共創の下で生み出していくプラットフォームです（図-4）。

少し詳しく説明しますと、まずは、地域の課題を解決したいという熱意のある人、また、自分の

持つ経験や知識を地域社会のために役立てたい、と考えている人など、様々な思いを持った人が会員登録します。次に、会員の中から自分と同じような思いを持つ仲間をデジタル上で探してもらい、その仲間たちで「コミュニティ」を作り、そのコミュニティでの対話を通じて、具体的な取り組みである「プロジェクト」をスタートさせるというものです。

この4月で運用開始から1年が経過しましたが、会員は580人を超え、30のコミュニティと33件のプロジェクトが立ち上がっています。私たちの予想を超えて多くの人たちに活用され、様々な

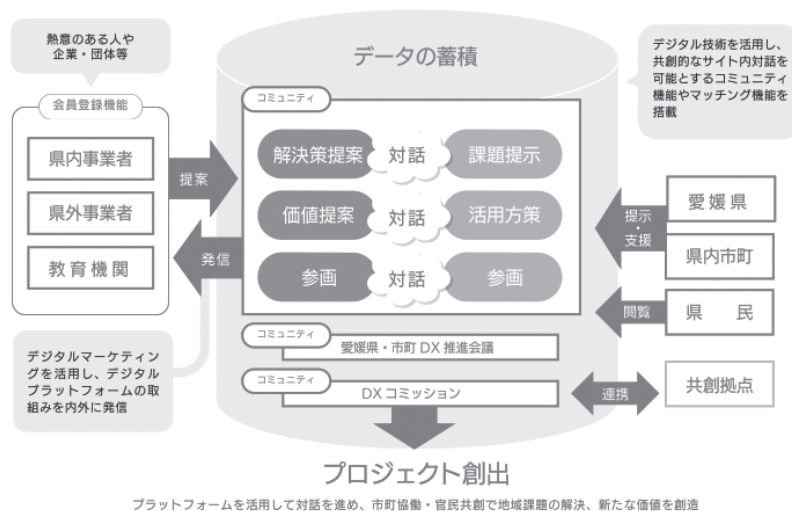


図-4 エールラボえひめ概念図

取り組みが生み出されていることをうれしく思っています。

3. 取り組みを円滑に進めるための工夫

エールラボえひめは、時間や場所にとらわれないというデジタルのメリットを生かし、会員の皆様に活動してもらいたいと考えていますが、デジタル上で初めて会った人同士がプロジェクトを進めていくのは難しいものです。

そのため、会員同士の対話を促進してコミュニティを活性化させ、プロジェクトにつなげていく役割を担う「コミュニティマネジャー」とプロジェクトの実効性を高めていく助言や調整等を行う「ディレクター」が、会員の皆様の取り組みをサポートしています。

加えて、会員同士が交流を深めたり、新しく会員になっていただくきっかけづくりとして、イベントを開催しています。昨年度は、コロナ禍もあり、オンラインとオフラインを組み合わせたハイブリッド形式で合計12回のイベントを開催して、会員同士の交流や想いの共有に努めました。こうしたデジタル上だけでなくオフラインでの対話も効果的に組み合わせることで、プロジェクト創出や実効性を高めています。

そして、もう一つの大きな特徴が、官民共創拠点の設置です。拠点は2カ所設置しており、一つは、松山市内にあるコワーキングスペース「マツヤマンスペース」、もう一つは、先駆的な企業や人材が集う東京・渋谷にある「SHIBUYA QWS（渋谷キューズ）」(以下、「QWS」という)です(写真-1, 2)。この二つの拠点に集まる先駆的な取り組みを行っている企業や人材との交流から得られる新たな視点やノウハウに触れたり、連携することで、より良いプロジェクトの創出や実行につなげてもらいたいと考えています。

特に、QWSは、日々新しいチャレンジが生まれています。昨年度制定された「デジタルの日(10月10日*)」には、QWSで官民共創イベント



写真-1 マツヤマンスペース



写真-2 SHIBUYA QWS

を開催し、トークセッションやプロジェクトオーナーさんによる取り組みの発表を行いました。この結果、エールラボコミュニティとQWSコミュニティの連携が生まれ、プロジェクトに向けたディスカッションが進んでおり、私たちも新しいチャレンジに向けた取り組みを積極的にサポートしていきたいと考えています。

※2021年は10月10、11日。2022年以降は10月の第1日・月曜日。

また、エールラボでのプロジェクトには県の認定制度もあります(図-5)。

プロジェクトの中には、何らかの後押しがあればプロジェクトをスタートできる、あるいは広くPRすることで成果の向上が期待できるような場合があります。このような場合に、県からの認定が得られれば、県広報誌でのPRや補助金の申請ができるようになります。ディレクターやコミュニティマネジャーのサポートに加え、こういった

プロジェクトの認定制度	
<p>プロジェクトオーナーは、プロジェクトの創出や実行の過程で、公的な支援が必要であれば、県（デジタルシフト推進課）にサポートを申請できます。</p> <p>県は、申請されたプロジェクトについて、毎月開催する審査会で支援の妥当性を判断し、適当と認めるものについて、認定プロジェクトとしてサポートを行います。</p>	
【支援メニュー】	
支援項目	内容
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・プレスリリースの発出 ・県が有するウェブサイト、SNS、広報紙その他の広報媒体への掲載 ・イベントへの県の関係者の出席
法令関係支援	<ul style="list-style-type: none"> ・法令解釈などの相談、規制緩和の協議や特区申請等に関する関係機関との連絡調整
仲介	<ul style="list-style-type: none"> ・行政機関、各種業界団体、県が関係を有する機関の紹介
県有資産の貸出し	<ul style="list-style-type: none"> ・県有資産の使用に当たっての減免措置の調整等
補助制度等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト実施に当たり活用可能な補助制度等の支援措置に関する情報提供
官民共創スタートアップ支援事業費補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・必要経費の一部助成（補助対象経費など具体的内容は別に定める）
共創拠点施設優先利用	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏会員との協議等に利用するための場を優先提供
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・知事が適当と認めるもの

図-5 プロジェクトの認定制度

県の支援制度を有効に活用していただき、プロジェクトの実効性を高めてもらいたいと考えています。ただし、認定には外部審査員による審査があります。審査員の方からは、励ましや応援の言葉だけではなく、時には厳しい意見をいただくこともあります。その言葉もエネルギーに変えてもらい、チャレンジを進めることを期待しています。

4. プロジェクトの具体的な取り組み

こういった中で創出されたプロジェクトの内容は多岐にわたっています。地元のみかんブランドを守ろうとするものや、子ども食堂の支援の輪を広げようとするものなど、いずれも地域に根差した魅力的なものばかりです（図-6）。

The screenshot shows a grid of four community project listings on the Eelra Bomi website. Each listing includes a title, a brief description, founding date, number of members, community manager, and activity area. The projects are: 1. 'Miyama's Mikan for Future Generations' (西予市), 2. 'Supporting Children's Cafeterias' (愛媛県全域), 3. 'We want to embrace Ehime with Mikan Lanterns' (松山市), and 4. 'Official Co-creation Point Utilization Application Community' (愛媛県全域).

図-6 コミュニティ例

コミュニティから生まれたいくつかのプロジェクトを具体的に紹介しますと、

- ① 女性がデジタル環境の中で自分に合った働き方ができるよう、専門知識を持つ女性たちと企業等とのマッチングを通して、本県の女性の自立を促進し、地域経済の活性化を目指す「愛媛デジ女プロジェクト」(図-7)

- ② 高校生のトレーニングや寮生向けの自炊メニューを作りたいとの思いに愛媛 FC の社会連携活動が結びついた「高校生向けのトレーニングメニューやお手軽自炊メニューをつくりたい！」(図-8, 写真-3)

- ③ 現代のせわしない世の中に、心があたたかくなるようなものを作りたいという思いから、県



図-7 愛媛デジ女プロジェクト



図-8 高校生向けのトレーニングメニューやお手軽自炊メニューをつくりたい！



写真-3 愛媛 FC 選手×小田分校生徒のトレーニングの様子



図-9 竹の灯りで愛媛を包みたい。

民が手作りした竹灯籠を県内11カ所で一斉点灯することを目標にする「竹の灯りで愛媛を包みたい。」(図-9) などが、今後の愛媛県に力を与えてくれるプロジェクトが進展しています。

5. DX コミッション

これまでご紹介した内容に加えて、エールラボえひめには、ほかにも「DX コミッション」という機能があります(図-10)。これは、新しいチャレンジに向けた実証実験を行いたい県内外の企業を対象に、愛媛県内での環境整備や関係機関との調整をワンストップで支援するものです。

具体的には、私が所属するデジタルシフト推進課が窓口となり、エールラボを活用して、実証実験できる場の調査や複数の市町や県の部署にまたがる案件でもワンストップで速やかに連絡・調整を行い、実証実験をプロジェクトとして推進します。



図-10 DX コミッション

このDX コミッションは、随時受け付けており、興味がある企業の方は、まず話を聞いてみたいというところからでも結構ですので、是非エールラボのサイトからお申し込みください。

6. 今後の展望

エールラボえひめは、官民共創によるDXの推進のため、今後も取り組みを進め、県民生活の質の向上や地域経済の活性化を図っていきたいと考えています。

まだ会員登録がお済みでない読者の皆様、エールラボえひめは、地域の課題解決や新たな価値の創造を図るために自分の力を使いたい、役に立ちたいと考えている全ての方の参加をお待ちしております。まずは会員登録を行っていただき、自身の興味のあるコミュニティ・プロジェクトを探してみませんか。あなたのやりたいことへの第一歩や、応援したくなるプロジェクトがそこにあると思います。

今後とも、エールラボえひめを、どうぞよろしくお願いいたします。

■官民共創デジタルプラットフォーム (エールラボえひめ)
<https://yell-lab.ehime.jp/>

